

## 中部標準化懇話会 2022年度 事業所見学会 見学録

開催日 2023年3月9日(木) 午後～ 3月10日(金) 1泊2日

テーマ 先進技術や伝統的な技法を駆使して、高品質・高機能の製品を生み出す  
経営・社風によるものづくり・ひとづくり

見学先 ①コマツ 栗津工場  
②金銀箔工芸さくだ

参加者 12名

作成者 幹事/見学部会 屋敷真勝 記

スケジュール 見学先①コマツ栗津工場  
9:30～ 1)ご挨拶・会社概要の説明  
2)人材育成取り組み事例紹介  
3)工場見学  
4)質疑応答 11:30終了



見学先②株式会社 金銀箔工芸さくだ  
12:45～ 1)ご挨拶・会社概要の説明  
2)金箔貼り体験  
14:00終了後ひがし茶屋町散策

報告記 見学先①コマツ栗津工場

### 1)ご挨拶・会社概要の説明

1938年トラクター・農業機械及び鉱山用機械増産のために栗津工場を新設、2014年5月に、ダントツの環境性能と生産性をあわせ持つ未来を見据えた次世代の組立工場が竣工され現在生産をしている。

栗津工場は、キーコンポーネントの一極集中開発・生産を担う主力工場のひとつで、マザー工場として海外工場の支援・指導を行っている。

工場内には、技能トレーニングセンターがあり海外や協力企業からの技能者育成の場にもなっている。

現在従業員は約2,800人。工場面積は720,000㎡と広大で東京ドーム約15個分に相当する。小型～中型クラスの建設機械（ホイールローダ、モータグレーダ、油圧ショベル、ブルドーザ）及び、キーコンポーネントの一つであるトランスミッションの開発・生産を担当している。

生産工程は、機械加工、溶接、組立、検査、出荷の流れで生産されている。サプライヤーのうちコマツ協力企業はみどり会と呼ばれている。

2) 栗津工場の取組は、

- ① 組立工場の生産性向上
- ② 省エネ・太陽光利用による電力使用量削減
- ③ 地元県産材の利用拡大(バイオマス)
- ④ ゼロ災サークル活動など行っている。

3) 技能向上活動の取組は

- ① 全社技能競技大会(年1回, 機械・溶接・熱処理・組立・塗装・検査・保全作業等)
- ② 技能士資格取得推進
- ③ 社外協力企業への指導
- ④ 全社QC大会・部門別QC大会 等がある。

4) 人材育成取り組み事例紹介

- ① 階層別教育
  - ② 海外現地法人、工場の人材研修
  - ③ 自社従業員のコマツ工専教育 (2年間)
  - ④ みどり会の人材研修
- 各種教育カリキュラムにより、階層別教育を実施している。

5) 工場見学

2棟の組立工場を1棟に集約した組立工場を見学した。

メインラインはホイール式車両とクローラ式車両の2ラインとそれぞれのサブラインから構成されていた。

工場の特徴は、柱のスパンが32mと広がっていて、柱を気にしない事や通常地上にある空調、エア配管、電線など地下に集約することで天井クレーンが両サイドから本ライン供給ができたり、レイアウト変更が容易にでき、作業しやすい環境、生産性向上になっていた。

以上